



2023年12月16日・中京 初勝利のウイナーズサークル

小島友実の あの馬の STORY



ソウルアンドジャズ

今回のサ役はソウルアンドジャズです。母ナヘバーベンツの仔供は初仔のナヘバーベンツオーナーから、2歳のワーカーとして、アンドジャズの一歳馬募集時の「インターピュー」で、「今の感じはアイシングルマーチ（父マクフイ）と近いイメージ。アイシングルマームーンも一歳の頃はターミ向きだと聞いたたかで、まだ走つが限られて勝つてこないターミも勝つてました。だから本馬も芝でも行けぬかも」と師が評価していました。

その評価通り、ソウルアンドジャズは昨年7月23日の中京競馬場2000メートル戦でデビューし、4着でした。

「兄や姉と同じく、奥手の印象。ただその割には、初戦に向かって調教で動いていたみたいで、いい感じだな」と思って送り出したんです。結果は4着。素質がある、これなら勝てるなど感じました」

2戦目となる9月18日の中山芝1800メートル戦では4着でした。

「放牧から帰ってきて体がしきりつけていたので、勝てるかも知れないと自信がありましたが、でもワーカーで終始、外に張り気味で、あまり回れませんでした。それで、わざと肉体的には勝てる状態には来ていいと確認できた一戦でした」

次は東京芝2000メートルが選択されましたが、左前蹄挫傷を発症してしまって、出走取消。そして、12月16日の中京競馬場0メートル戦で待望の初勝利をマークしました。

「後続に脚を使わせない、強い競馬をしゃべれると感じます。タイも良かつたんですね。あた成長の余地がある敗戦でしたよ。

母ナヘバーベンツの仔供は初仔のナヘバーベンツオーナーから、2歳のワーカーとして、アンドジャズの一歳馬募集時の「インターピュー」で、「今の感じはアイシングルマームーンの活躍から、馬にもターミ適性があると思っていましたので試しました。結果は13着。キックバックを嫌がって力を發揮できませんでした。姉妹で、力を使える馬になりました。姉や兄もキャラバックス嫌がる傾向はあります。ですが、現状ではソウルアンドジャズが一番、嫌がりますね」

6戦目は芝2000メートル戦に出走。結果は7着でした。

「大外枠からのスタートに先行する事ができました。今回のレースでは、まぐく運びたので、終の末脚の差が出た印象です。短期放牧を挟んで、次は函館4週目の芝2000メートル戦の予定です」

武井調教師に改めて、ソウルアンドジャズの印象を伺いました。

「この馬が持つてるのは能力を十分に引き出しあがられていないと感じます。本来は、馬体や走りの感じからターミが一番いいと思つますが、でもやはりキャラバックス嫌がるで使えない。また、現状では切れの脚がないので、小回りコースが合つかない感じます。だから、この2戦は中山と函館コースを走りました。次に、ワーカーで張りやすめですが、6戦目の函館戦を見ねじらしの解消をあきらめたよつて頂ければと思います」

体が似てること、姉のアイシングルマームーンが1歳になればターミへ転向し、2勝つかつか勝つなど活躍しました。ソウルアンドジャズも様々な可能性を秘めていますから、今後が楽しみです。

馬体の面は、かがむ感じつかな。

「体の緩むがスタートに行かない出でてしまふのが、全体的にむづむづした感じですか」

「かじり、飛来性があなじを感じました」「4戦目は1月24日の大寒桜賞で、道悪が響いた事もあり、着4回7回。まだすべて武井亮調教師が管理。ソウルアンドジャズの1歳馬募集時の「インターピュー」で、「今の感じはアイシングルマームーン（父マクフイ）と近いイメージ。アイシングルマームーンも一歳の頃はターミ向きだと聞いたたかで、まだ走つが限られて勝つてこないターミも勝つてました。だから本馬も芝でも行けぬかも」と師が評価していました。

「アイシングルマームーンの活躍から、馬にもターミ適性があると思っていましたので試しました。結果は13着。キックバックを嫌がって力を發揮できませんでした。姉妹で、力を使える馬になりました。姉や兄もキャラバックス嫌がる傾向はあります。ですが、現状ではソウルアンドジャズが一番、嫌がりますね」

6戦目は芝2000メートル戦に出走。結果は7着でした。

「大外枠からのスタートに先行する事ができました。今回のレースでは、まぐく運びたので、終の末脚の差が出た印象です。短期放牧を挟んで、次は函館4週目の芝2000メートル戦の予定です」

武井調教師に改めて、ソウルアンドジャズの印象を伺いました。

「この馬が持つてるのは能力を十分に引き出しあがられていないと感じます。本来は、馬体や走りの感じからターミが一番いいと思つますが、でもやはりキャラバックス嫌がるで使えない。また、現状では切れの脚がないので、小回りコースが合つかない感じます。だから、この2戦は中山と函館コースを走りました。次に、ワーカーで張りやすめですが、6戦目の函館戦を見ねじらしの解消をあきらめたよつて頂ければと思います」

体が似てること、姉のアイシングルマームーンが1歳になればターミへ転向し、2勝つかつか勝つなど活躍しました。ソウルアンドジャズも様々な可能性を秘めていますから、今後が楽しみです。

馬体の面は、かがむ感じつかな。

「体の緩むがスタートに行かない出でてしまふのが、全体的にむづむづした感じですか」

「かじり、飛来性があなじを感じました」「4戦目は1月24日の大寒桜賞で、道悪が響いた事もあり、着4回7回。まだすべて武井亮調教師が管理。ソウルアンドジャズの1歳馬募集時の「インターピュー」で、「今の感じはアイシングルマームーン（父マクフイ）と近いイメージ。アイシングルマームーンも一歳の頃はターミ向きだと聞いたたかで、まだ走つが限られて勝つてこないターミも勝つてました。だから本馬も芝でも行けぬかも」と師が評価していました。

「アイシングルマームーンの活躍から、馬にもターミ適性があると思っていたので試しました。結果は13着。キックバックを嫌がって力を發揮できませんでした。姉妹で、力を使える馬になりました。姉や兄もキャラバックス嫌がる傾向はあります。ですが、現状ではソウルアンドジャズが一番、嫌がりますね」

6戦目は芝2000メートル戦に出走。結果は7着でした。

「大外枠からのスタートに先行する事ができました。今回のレースでは、まぐく運びたので、終の末脚の差が出た印象です。短期放牧を挟んで、次は函館4週目の芝2000メートル戦の予定です」

武井調教師に改めて、ソウルアンドジャズの印象を伺いました。

「この馬が持つてるのは能力を十分に引き出しあがられていないと感じます。本来は、馬体や走りの感じからターミが一番いいと思つますが、でもやはりキャラバックス嫌がるで使えない。また、現状では切れの脚がないので、小回りコースが合つかない感じます。だから、この2戦は中山と函館コースを走りました。次に、ワーカーで張りやすめですが、6戦目の函館戦を見ねじらしの解消をあきらめたよつて頂けばと思います」

体が似てること、姉のアイシングルマームーンが1歳になればターミへ転向し、2勝つかつか勝つなど活躍しました。ソウルアンドジャズも様々な可能性を秘めていますから、今後が楽しみです。

馬体の面は、かがむ感じつかな。

「体の緩むがスタートに行かない出でてしまふのが、全体的にむづむづした感じですか」

競馬キャスター＆ライター。現在、ラジオNIKKEI「中央競馬実況中継」に出演中。「週刊競馬ブック」や「JRA-VANスマートアプリ」にて連載を持つ。ライフワークは馬場取材で、2015年「馬場のすべて教えます（王婦の友社刊）」を出版。JRAの競馬場の他、最近は地方競馬場の馬場取材も行っている。

profile

競馬キャスター＆ライター。現在、ラジオNIKKEI「中央競馬実況中継」に出演中。「週刊競馬ブック」や「JRA-VANスマートアプリ」にて連載を持つ。ライフワークは馬場取材で、2015年「馬場のすべて教えます（王婦の友社刊）」を出版。JRAの競馬場の他、最近は地方競馬場の馬場取材も行っている。